

平成 28 年度

小郡市公共施設等総合管理計画に関する市民意識調査報告書

調査の概要

1. 調査の目的

この調査は市民意識の動向と現在の市民の多様なニーズを統計的に把握し、その結果を公共施設等総合管理計画の策定に反映させること等を目的とする。

2. 調査の方法

- (1) 調査地域 ----- 小郡市全域
- (2) 調査対象者 ----- 小郡市に在住する満 20 歳以上の市民
- (3) サンプル数 ----- 2,000 人
- (4) 抽出方法 ----- 住民基本台帳から無作為抽出
- (5) 実施方法 ----- 調査票を郵送し、回答のうえ返信用封筒にて返送
- (6) 調査期間 ----- 平成 28 年 6 月 28 日 (火) ～平成 28 年 7 月 15 日 (金)

3. 回収の状況

配布数 (人)	回収数 (人)	回収率 (%)
2,000	680	34.0%

4. 調査項目

1. 回答者の属性

回答者の性別、年齢、本市居住年数及び居住地区を調査し、それらの属性からの傾向を把握する。

2. 公用施設等総合管理計画策定に伴う調査

公共施設の整備や管理の進め方、公共施設毎の満足度等を調査し、今後の公共施設のあり方に対する市民ニーズを把握する。

報告書の留意点

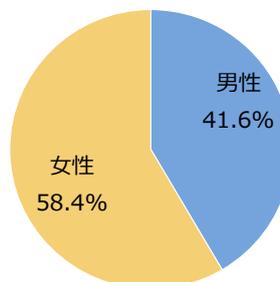
1. 基準となるべき実数は、有効回答数とした。
2. 比率は、その質問の有効回答数を母数とし小数点以下第二位を四捨五入して算出し、すべてパーセント (%) で表した。そのためパーセントの合計が 100%にならないことがある。
3. 本報告書の回答選択肢の表現は、趣旨が変わらない程度に簡略化して掲載している場合がある。
4. 居住地域についてはアンケート実施時、細分化された結果のため小学校区での調査とした。本報告書では「小郡市都市計画マスタープラン」の「地区の区分」に準じ中学校区にて集計を行っている。

中学校区 (アンケート集計地域区分)	小学校区 (アンケート実施地域区分)
小郡中学校区	小郡小学校区
大原中学校区	大原小学校区 東野小学校区
三国中学校区	三国小学校区 のぞみが丘小学校区
立石中学校区	立石小学校区
宝城中学校区	御原小学校区 味坂小学校区

I. 回答者の属性

1. 性別

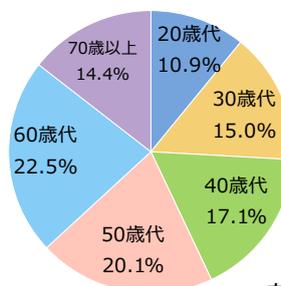
性別	人	割合
男性	278人	41.6%
女性	391人	58.4%
有効回答計	669人	100%
無回答	11人	



有効回答数: 669人

2. 年齢

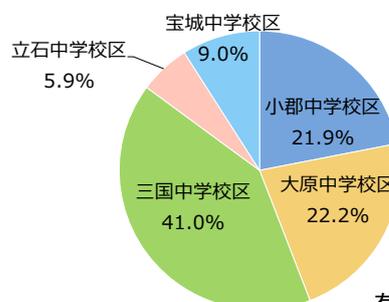
年代	人	割合
20歳代	73人	10.9%
30歳代	101人	15.0%
40歳代	115人	17.1%
50歳代	135人	20.1%
60歳代	151人	22.5%
70歳以上	97人	14.4%
有効回答計	672人	100%
無回答	8人	



有効回答数: 672人

3. 地区別

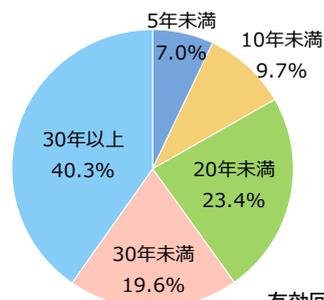
地区	人	割合
小郡中学校区	146人	21.9%
大原中学校区	148人	22.2%
三国中学校区	273人	41.0%
立石中学校区	39人	5.9%
宝城中学校区	60人	9.0%
有効回答計	666人	100%
無回答	14人	



有効回答数: 666人

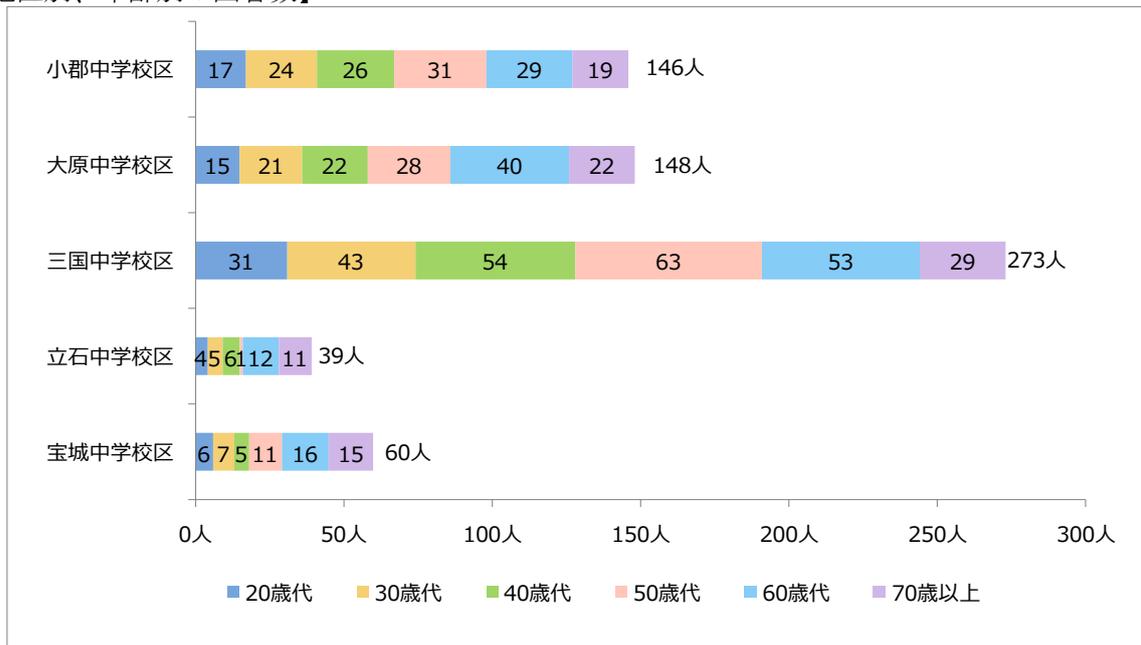
4. 居住年数

居住年数	人	割合
5年未満	47人	7.0%
10年未満	65人	9.7%
20年未満	157人	23.4%
30年未満	131人	19.6%
30年以上	270人	40.3%
有効回答計	670人	100%
無回答	10人	



有効回答数: 670人

【地区別、年齢別の回答数】



性別は、「女性」391人（58.4%）が「男性」278人（41.6%）を16.8%上回る割合となっている。

年代の割合は、「60歳代」（22.5%）が最も高く、「50歳代」（20.1%）、「40歳代」（17.1%）、「70歳以上」（14.4%）、「20歳代」（10.9%）となっており、特に若年層の回答率が低くなっている。

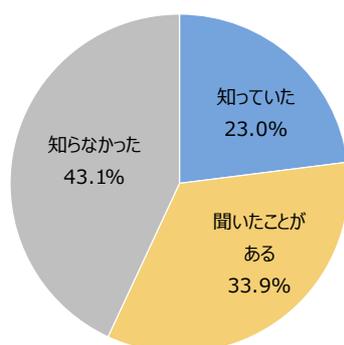
地区別については、「三国中学校区」（41.0%）が約4割を占め、最も低いのは「立石中学校区」（5.9%）になる。

居住年数は、10年以上居住されている方が全体の8割を占め、居住年数が長くなるほど回答率が高くなる傾向がみられる。

II. 公用施設等総合管理計画策定に伴う調査

1. 公共施設更新問題について

Q1 全国の自治体において、高度経済成長期に多くの公共施設を建設したため、近い将来、建替えが集中し、公共施設などの更新に必要な費用が不足する（公共施設更新問題）ことが課題となっていることを知っていましたか。



有効回答数：613人

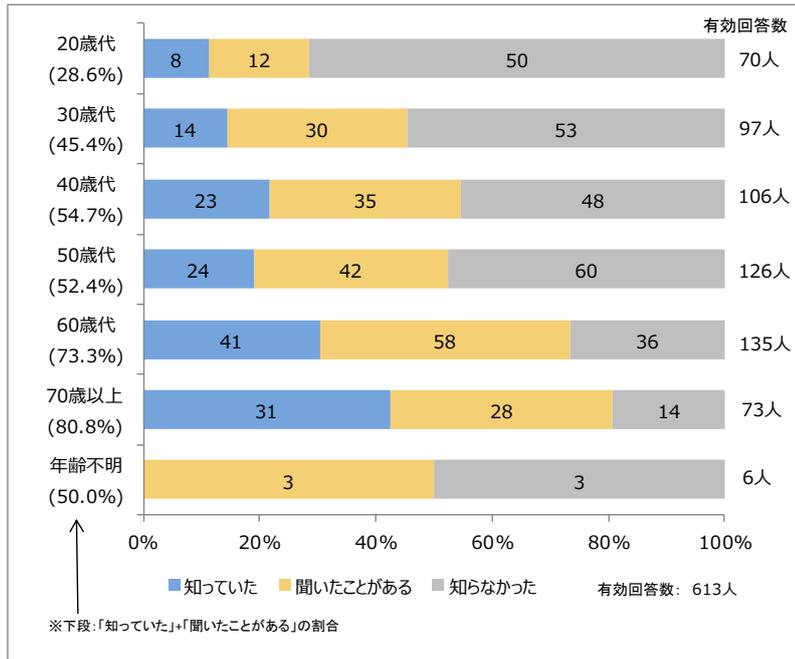
選択項目	回答人数	割合
知っていた	141人	23.0%
聞いたことがある	208人	33.9%
知らなかった	264人	43.1%
有効回答数	613人	100%

無回答 67

「知っていた」23.0%、「聞いたことがある」（33.9%）と合わせると全体の56.9%が公共施設の老朽化問題の現状を理解していることになる。

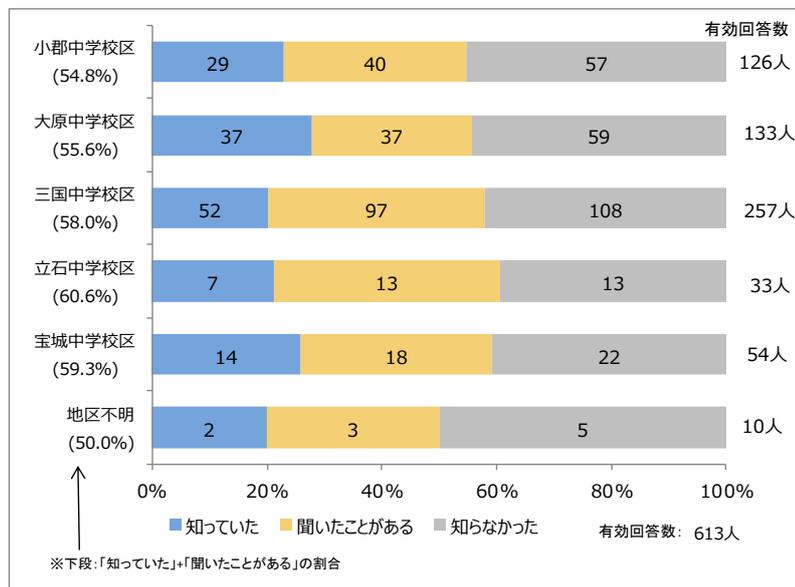
その一方で、「知らなかった」という回答も、43.1%あがっている。

【公共施設更新問題について_年代別】



年代別にみると、年代が若いほど「知っている」「聞いたことがある」の割合が低く、年代が高いほど認知度が高い傾向にある。

【公共施設更新問題について_居住地区別】



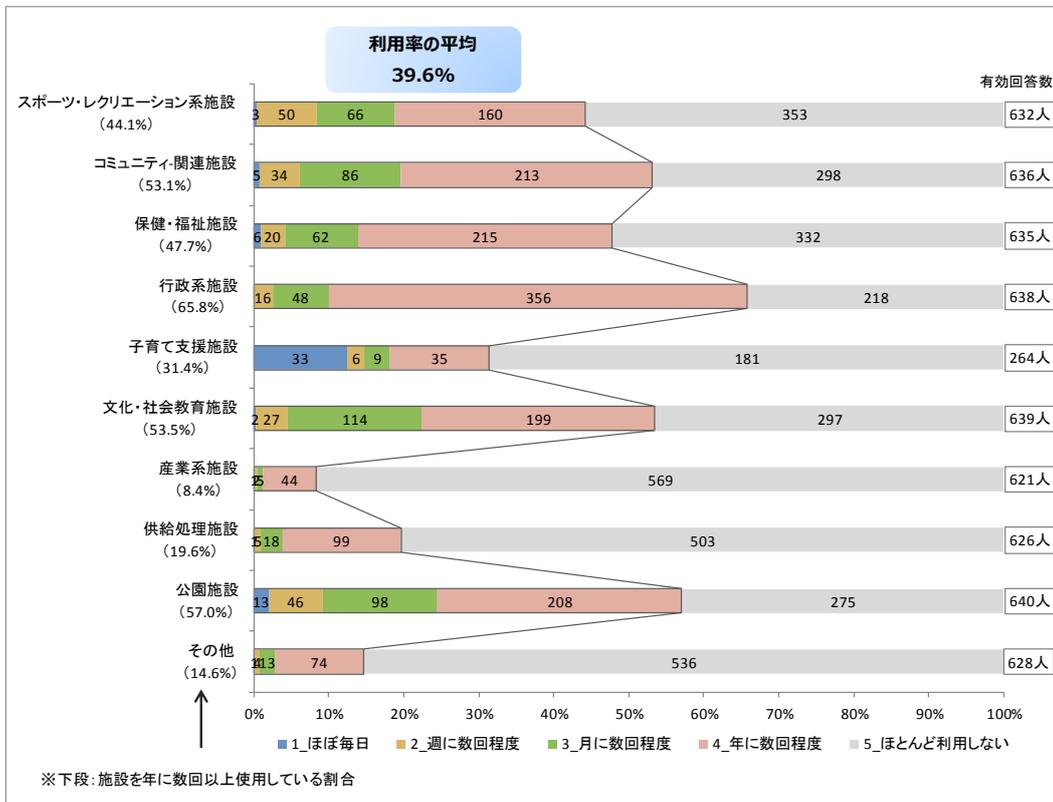
居住地区別では、全体と概ね同様の傾向で、5割から6割の回答者が、公共施設の老朽化問題の現状を認知していることがわかる。

【まとめ】

公共施設更新問題の認知度は、回答者全体の56.9%となっており、年代が高いほど認知度が高い傾向がある。

2. 施設の利用状況について

Q2 公共施設についてどれくらいの頻度で利用しますか？

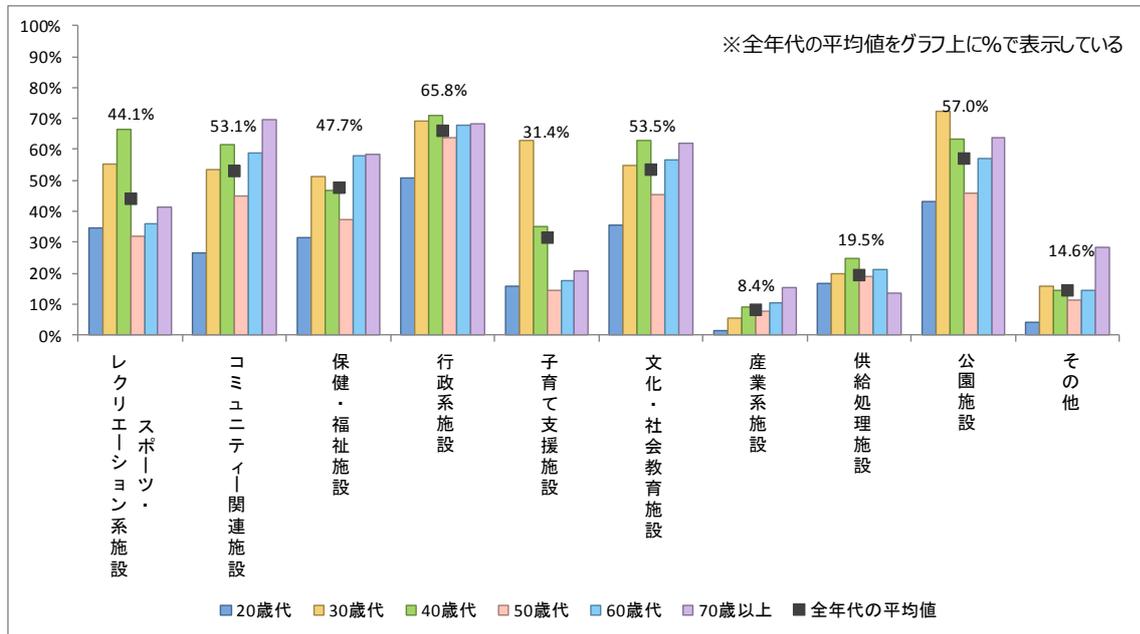


	ほぼ毎日	週に数回程度	月に数回程度	年に数回程度	ほとんど利用しない	有効回答数	利用率
スポーツ・レクリエーション系施設	3 0.5%	50 7.9%	66 10.4%	160 25.3%	353 55.9%	632 100%	44.1%
コミュニティ関連施設	5 0.8%	34 5.3%	86 13.5%	213 33.5%	298 46.9%	636 100%	53.1%
保健・福祉施設	6 0.9%	20 3.1%	62 9.8%	215 33.9%	332 52.3%	635 100%	47.7%
行政系施設	0 0.0%	16 2.5%	48 7.5%	356 55.8%	218 34.2%	638 100%	65.8%
子育て支援施設	33 12.5%	6 2.3%	9 3.4%	35 13.3%	181 68.6%	264 100%	31.4%
文化・社会教育施設	2 0.3%	27 4.2%	114 17.8%	199 31.1%	297 46.5%	639 100%	53.5%
産業系施設	1 0.2%	2 0.3%	5 0.8%	44 7.1%	569 91.6%	621 100%	8.4%
供給処理施設	1 0.2%	5 0.8%	18 2.9%	99 15.8%	503 80.4%	626 100%	19.6%
公園施設	13 2.0%	46 7.2%	98 15.3%	208 32.5%	275 43.0%	640 100%	57.0%
その他	1 0.2%	4 0.6%	13 2.1%	74 11.8%	536 85.4%	628 100%	14.6%

※利用率は施設を年に数回以上利用している割合。
 ※「対象者がいないため利用しない」、「無回答」は集計から除外している。
 ※グラフ中、「利用率の平均39.6%」は各用途の平均から算出した。

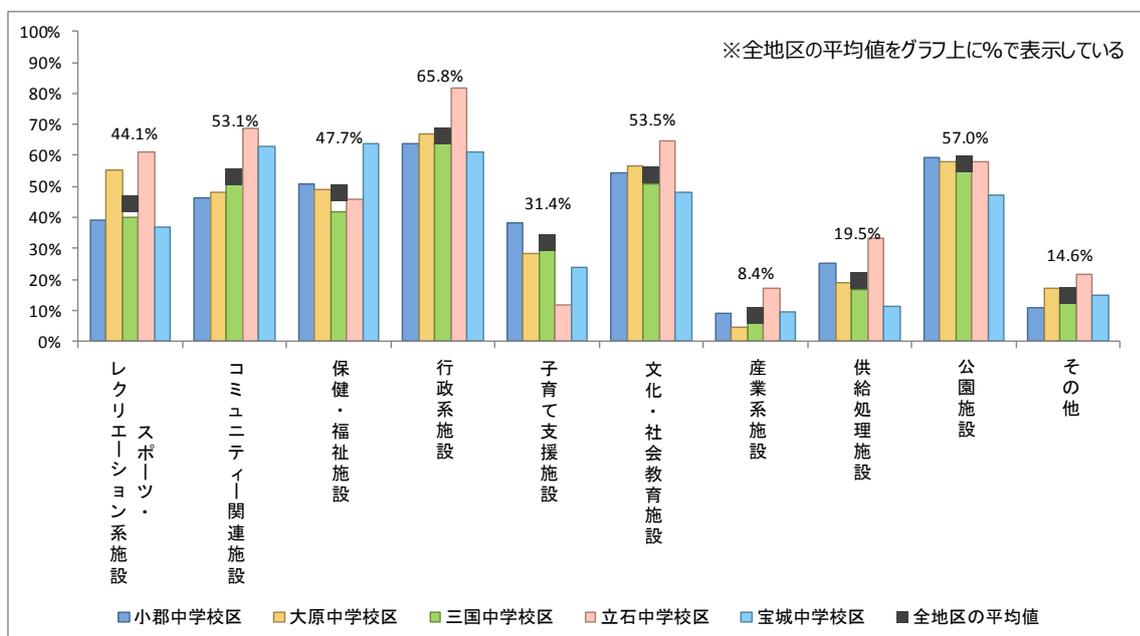
公共施設の利用状況を「ほぼ毎日」、「週に数回程度」、「月に数回程度」、「年に数回程度」と回答した割合でみると、行政系施設（65.8%）が最も高く、次いで公園（57.0%）となる。最も低いのは産業系施設（8.4%）となっている。

【施設の利用状況_年代別】 ※施設を年に数回以上利用している割合



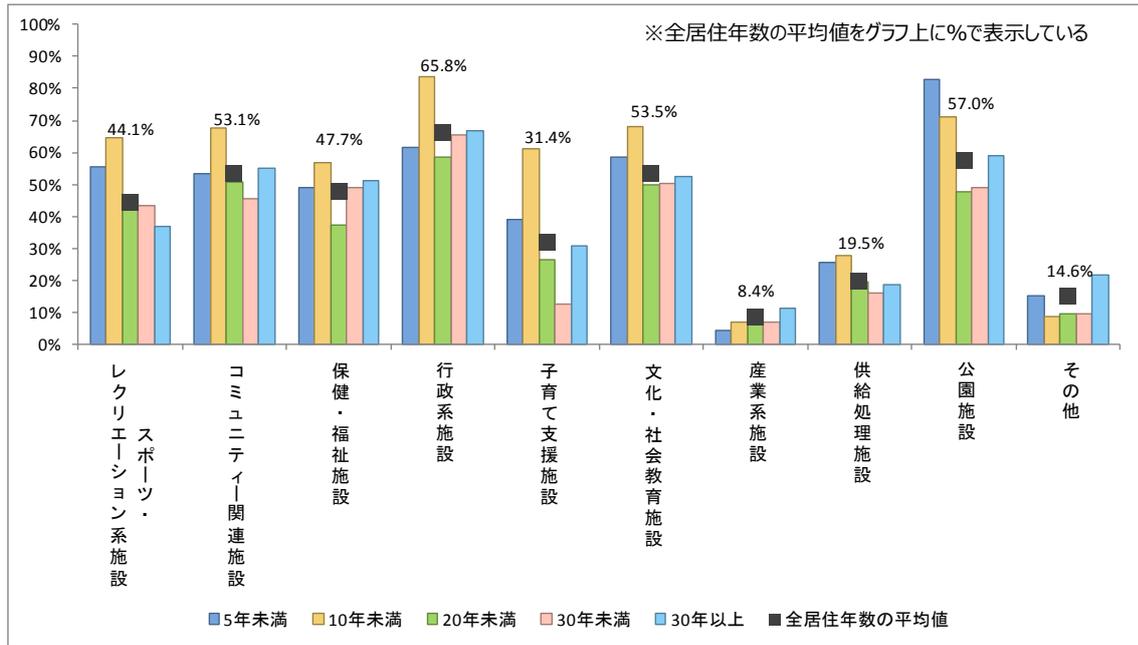
年代別にみると、30歳代の利用状況が特徴的となっており、子育て支援施設が62.9%（全年代平均は31.4%）、公園施設が72.4%（全年代平均は57.0%）と利用率が高い。

【施設の利用状況_地区別】 ※施設を年に数回以上利用している割合



地区別にみると、宝城中学校区で保健・福祉施設の利用率が高く、立石中学校区でスポーツ・レクリエーション系施設、コミュニティー関連施設、行政系施設、文化・社会教育施設の利用率が高い。

【施設の利用状況_居住年数別】 ※施設を年に数回以上利用している割合



居住年数別にみると、10年未満の回答者のスポーツ・レクリエーション系施設、コミュニティー関連施設、保健・福祉施設、行政系施設、子育て支援施設、文化・社会教育施設の利用率が高い。

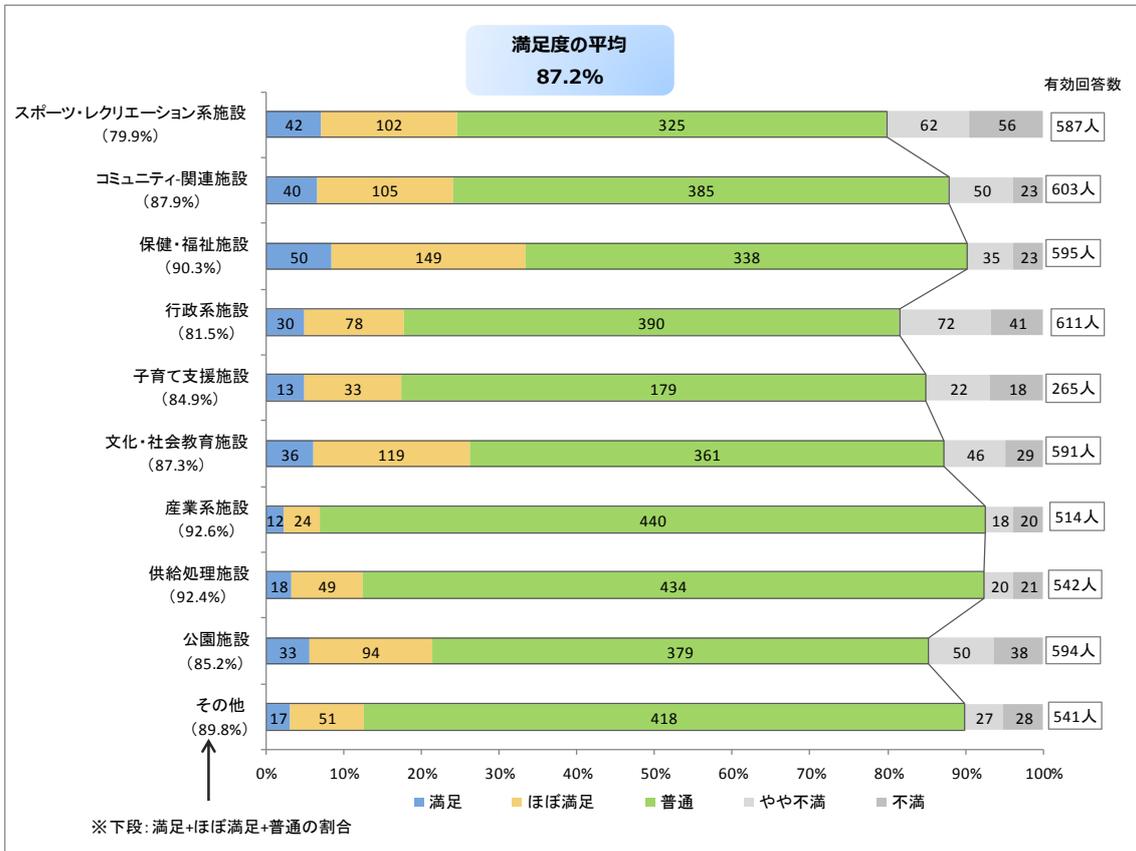
【まとめ】

年代別の施設需要の想定

子育て世代（30歳代、40歳代）＝スポーツ・レクリエーション系施設、子育て支援施設、文化・社会教育施設、公園、 高齢世代＝コミュニティー関連施設、保健・福祉施設、文化・社会教育施設の利用率がそれぞれ高い。

3. 公共施設の満足度について

Q3 公共施設についてはどのように評価しますか。いずれか一つに○をつけてください。



	満足	ほぼ満足	普通	やや不満	不満	有効回答数	満足度
スポーツ・レクリエーション系施設	42	102	325	62	56	587	79.9%
	7.2%	17.4%	55.4%	10.6%	9.5%	100%	
コミュニティ関連施設	40	105	385	50	23	603	87.9%
	6.6%	17.4%	63.8%	8.3%	3.8%	100%	
保健・福祉施設	50	149	338	35	23	595	90.3%
	8.4%	25.0%	56.8%	5.9%	3.9%	100.0%	
行政系施設	30	78	390	72	41	611	81.5%
	4.9%	12.8%	63.8%	11.8%	6.7%	100%	
子育て支援施設	13	33	179	22	18	265	84.9%
	4.9%	12.5%	67.5%	8.3%	6.8%	100%	
文化・社会教育施設	36	119	361	46	29	591	87.3%
	6.1%	20.1%	61.1%	7.8%	4.9%	100%	
産業系施設	12	24	440	18	20	514	92.6%
	2.3%	4.7%	85.6%	3.5%	3.9%	100%	
供給処理施設	18	49	434	20	21	542	92.4%
	3.3%	9.0%	80.1%	3.7%	3.9%	100%	
公園施設	33	94	379	50	38	594	85.2%
	5.6%	15.8%	63.8%	8.4%	6.4%	100%	
その他	17	51	418	27	28	541	89.8%
	3.1%	9.4%	77.3%	5.0%	5.2%	100%	

※満足度は「満足」、「ほぼ満足」、「普通」と回答した割合。

※「対象者がいないためわからない」、「無回答」は集計から除外している。

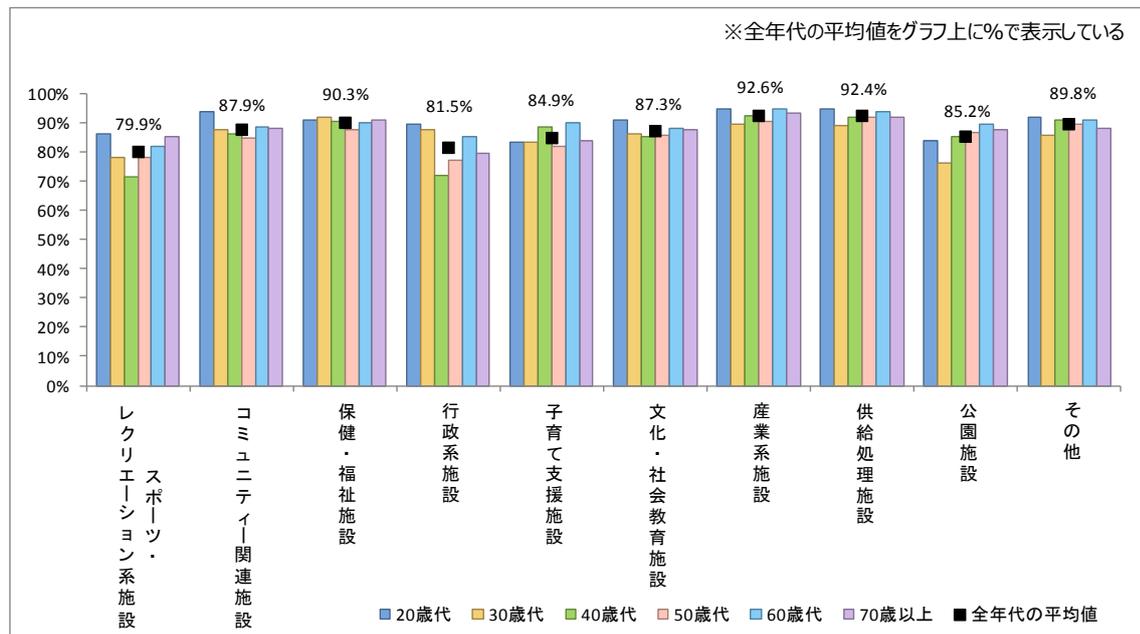
公共施設の満足度（「満足」+「ほぼ満足」+「普通」の割合）は、平均すると 87.2%となり、すべての用途で 75%以上となっている。

保健・福祉施設は満足度 90.3%、「満足」「ほぼ満足」と回答している方の割合も 33.4%となっており、満足度の高い施設といえる。

行政系施設は施設の利用率は 65.8%と高いが、行政系施設の満足度は 81.5%とやや低い傾向にある。理由としては、「駐車場が少なく、せまい」、「建物が老朽化している」などの意見がある。

子育て支援施設は、「対象者がいないためわからない」と回答している方の割合が多く、有効回答数は 265 人と他の施設に比べ有効回答数が少ない。

【年代別の満足度】（満足+ほぼ満足+普通の割合）

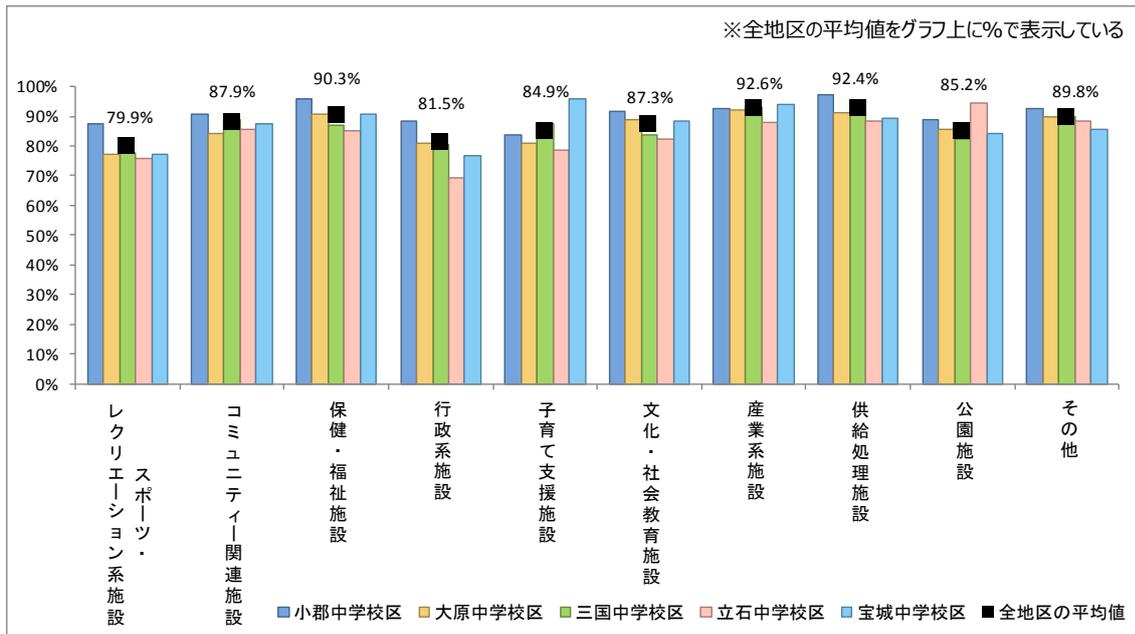


年代別の満足度をみると、行政系施設で 20 歳代、30 歳代の満足度が高いのに対し、40 歳代は 72.2%と全年代平均 81.5%より低くなっている。スポーツ・レクリエーション系施設でも 40 歳代の満足度は 71.7%と全年代平均の 79.9%より低い結果となっている。

40 歳代では、子育て支援施設の満足度が 88.9%と平均 84.9%より高い結果となっている。

20 歳代、30 歳代は多くの施設で満足度が他の年代に比べて高いが、子育て支援施設、公園施設では他の年代より満足度が低い傾向にある。

【地区別の満足度】（満足+ほぼ満足+普通の割合）

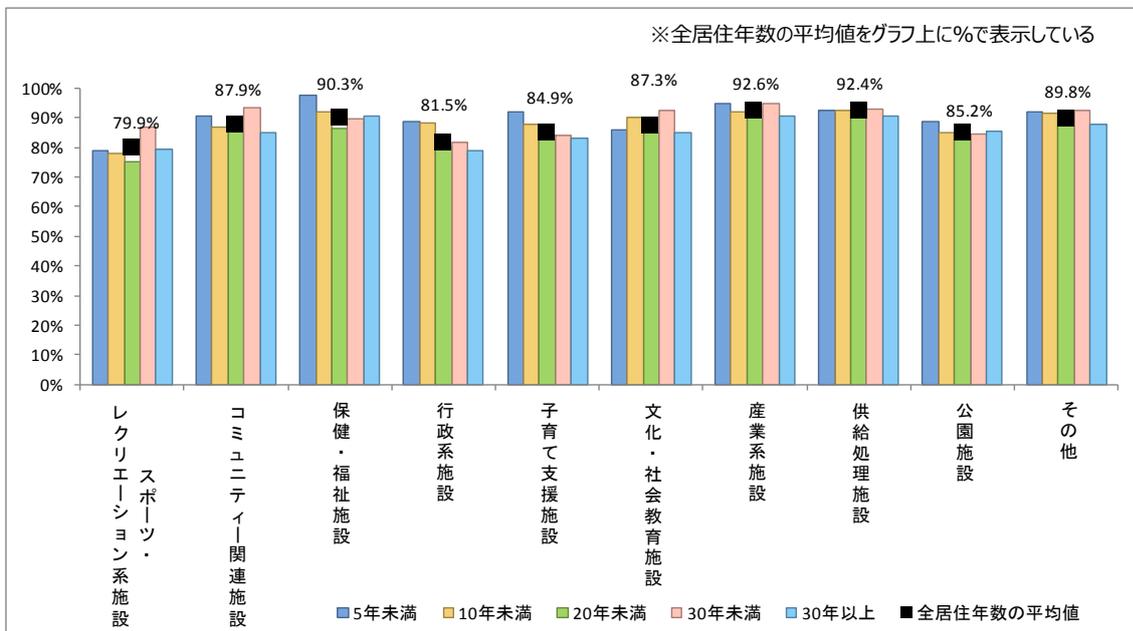


地区別の満足度をみると、宝城中学校区では子育て支援施設の満足度が 96.0%と子育て支援施設の平均 84.9%に比べ高くなっている。

小郡中学校区では、スポーツ・レクリエーション系施設で 87.5%、コミュニティ関連施設で 90.6%、保健・福祉施設で 96.1%といずれも用途の満足度の平均値より高くなっている。

立石中学校区では公園施設の満足度が 94.4%と、公園施設の満足度平均 85.2%よりも高い。

【居住年別の満足度】（満足+ほぼ満足+普通の割合）

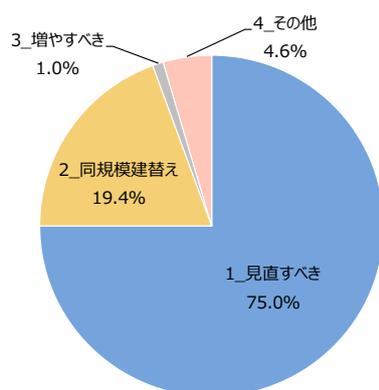


居住年別に公共施設の満足度をみると、居住年数が 5 年未満と 10 年未満の回答者の施設の満足度が高い傾向にある。

行政系施設は居住年数 30 年以上の方の満足度が 78.8%と低く、理由としては「老朽化が著しく、災害時に心配」、「駐車場の不足」などの意見がある。

4. 今後の公共施設の整備について

Q4 市の公共施設は築 30 年以上のものが多くあり、老朽化とともに、近い将来一斉に建替え等を実施しなければならない時期を迎えるため、財源確保が難しくなることが予測されます。このような中で今後、公共施設の整備や管理運営について、どのように進めていくべきだと考えますか。あなたの考えに最も近いものを 1 つだけ選んで○をつけてください。



有効回答数: 592人

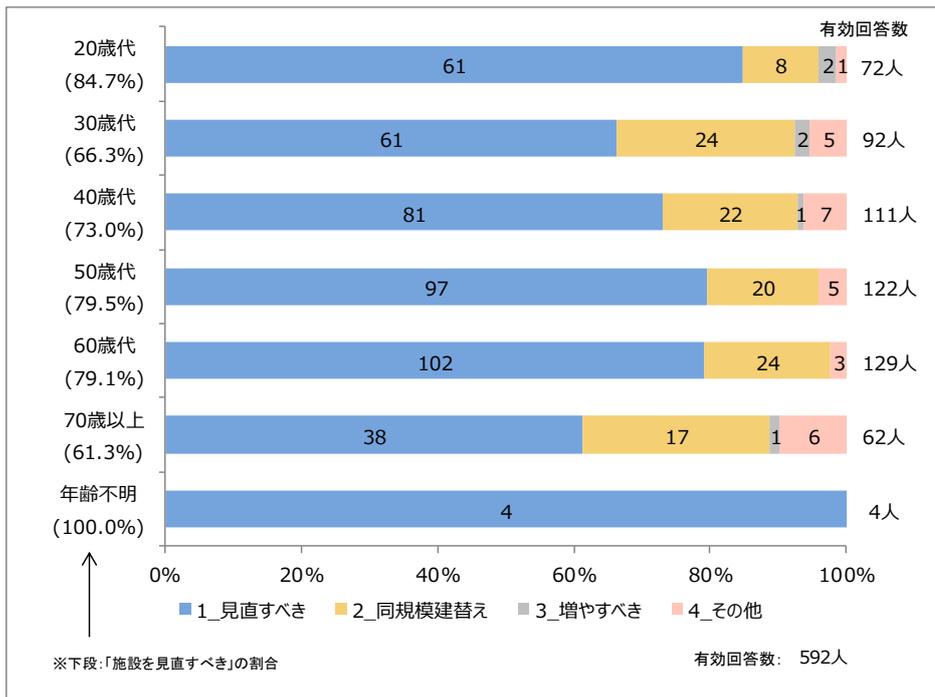
選択項目	回答人数	割合
1 【見直すべき】 将来の人口規模や財政状況に見合った必要な施設を残していくべき	444人	75.0%
2 【同規模建替え】 既存の公共施設を現在のまま維持し、老朽化した施設は同規模での建替えや改修をするべき	115人	19.4%
3 【増やすべき】 公共施設はまだ不足しているので、今後も多くの施設を建てるべき	6人	1.0%
4 その他	27人	4.6%
有効回答数	592人	100%

無回答 88人

大多数の回答者（75.0%）が、今後の公共施設の整備の方向性について、将来の人口規模や財政に見合った必要な施設を残していき、見直すべきと考えている。

「同規模での建替えや改修をするべき」は 19.4%で、理由として「それぞれの地域において必要な施設」という考え方の意見などがある。

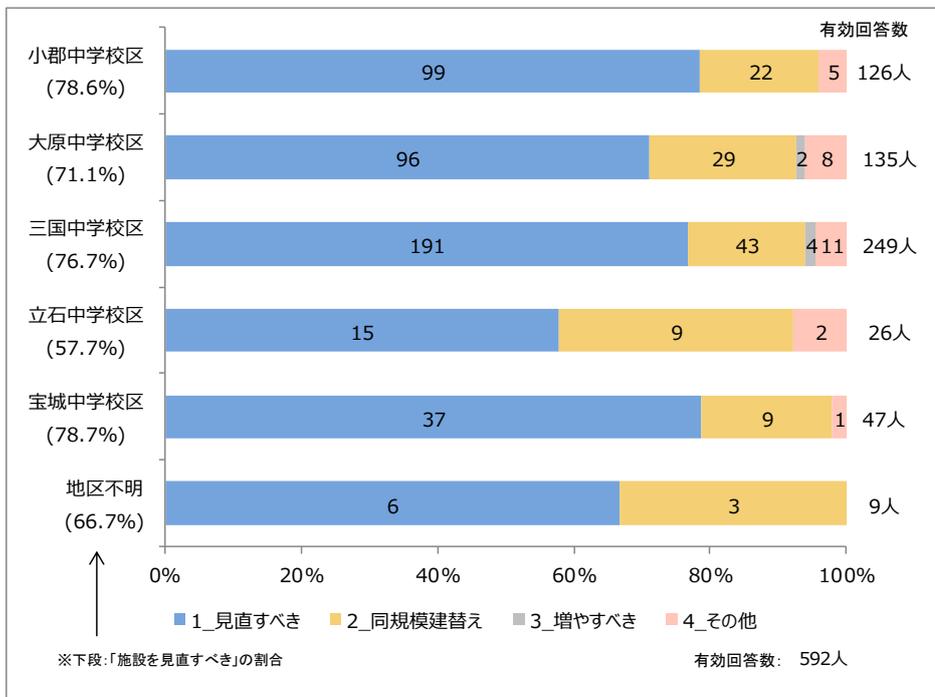
【今後の公共施設の整備について_年代別】



年代別でも、全年代において6割以上の回答者が公共施設の整備の方向性を「見直すべき」と考えている。

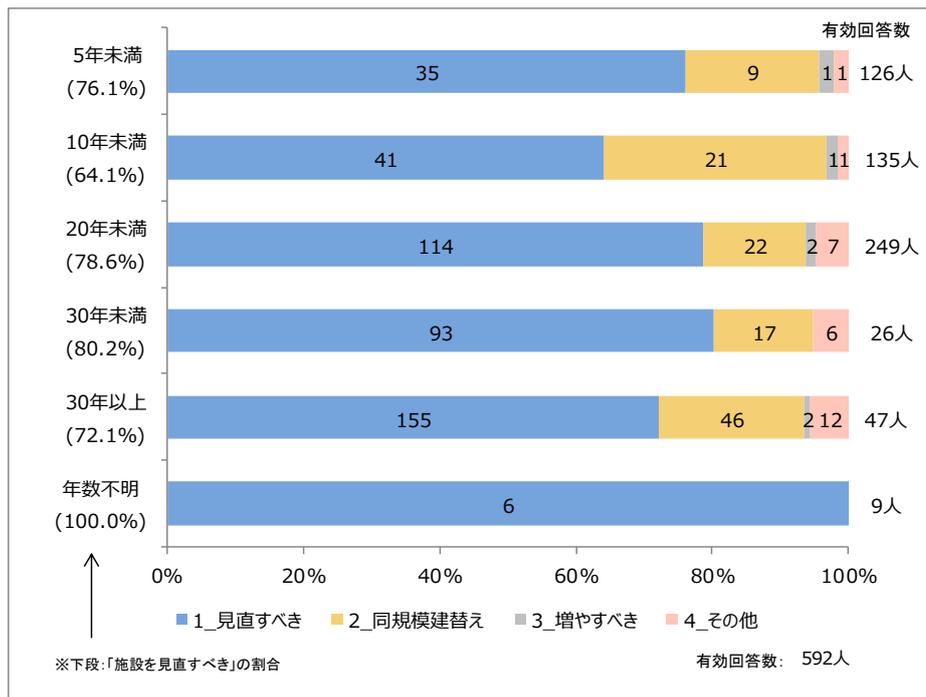
70歳代は「見直すべき」と回答した割合が最も低く、平均75.5%に対し61.3%となっている。

【今後の公共施設の整備について_地区別】



地区別では、立石中学校区で「見直すべき」と回答した割合が最も低く、他の地区が70%を上回るのに比べ、57.7%と6割に満たない結果となっている。

【今後の公共施設の整備について_居住年数別】



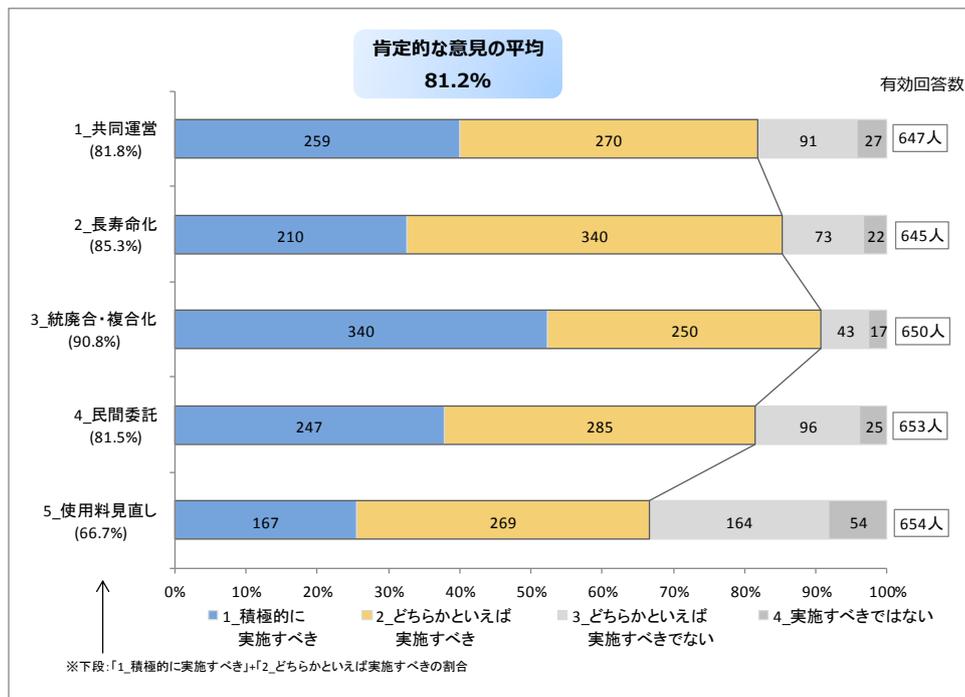
居住年別でも 6 割以上の回答者が公共施設の整備の方向性を「見直すべき」と考えている。
居住年数が 5 年以上 10 年未満の回答者は「見直すべき」と回答した割合が最も低く、平均 75.5% に対し、64.1%となっている。

5. 今後の公共施設の管理について

Q5 将来も必要となる公共サービスを安心・安全な状態で提供していくためには、様々な視点で方策を検討する必要があります。そこ以下の項目それぞれについて、あなたの考えにもっとも近いものをそれぞれ一つだけ選んで○を付けてください。

1	【共同運営】 近隣市町と共同で施設を設置運営する。
2	【長寿命化】 施設を定期的に改修し、長期間利用できるようにする(長寿命化)。
3	【統廃合・複合化】 一つの建物に複数の施設や機能を集めて、様々なサービスを提供できるようにする。
4	【民間委託】 民間の力を活用するPPPやPFIを推進したり、開館時間の短縮等サービスを縮小し、維持管理コストを抑える。
5	【使用料見直し】 光熱水費等の維持管理費を見直し、コスト削減を行い、また、不足費用を補うために施設の利用料を引き上げる。

1～5の設問内容をそれぞれ、「1_積極的に実施すべき」、「2_どちらかといえば実施すべき」、「3_どちらかといえば実施すべきでない」、「4_実施すべきでない」の中から選択して回答



	1_積極的に実施すべき	2_どちらかといえば実施すべき	3_どちらかといえば実施すべきでない	4_実施すべきでない	有効回答数	肯定的な意見の割合
1_共同運営	259	270	91	27	647	81.8%
	40.0%	41.7%	14.1%	4.2%	100%	
2_長寿命化	210	340	73	22	645	85.3%
	32.6%	52.7%	11.3%	3.4%	100%	
3_統廃合・複合化	340	250	43	17	650	90.8%
	52.3%	38.5%	6.6%	2.6%	100%	
4_民間委託	247	285	96	25	653	81.5%
	37.8%	43.6%	14.7%	3.8%	100%	
5_使用料見直し	167	269	164	54	654	66.7%
	25.5%	41.1%	25.1%	8.3%	100%	

※肯定的な意見の割合は「積極的に実施すべき」、「どちらかといえば実施すべき」と回答した割合。

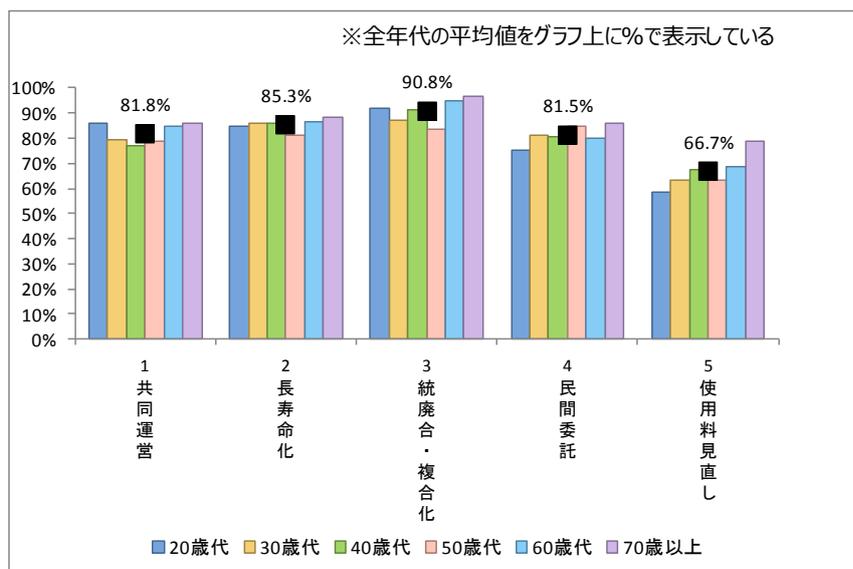
今後の公共施設の様々な視点での方策について「積極的に実施すべき」、「どちらかといえば実施すべき」と考えている回答者の割合をみると、「1_共同運営」(81.8%)、「2_長寿命化」(85.3%)、「3_統廃合・複合化」(90.8%)、「4_民間委託」(81.5%)、「5_使用料見直し」(66.7%)となる。すべての公共施設の管理方法の平均は81.2%で約8割以上の回答者が様々な視点からの管理実施を支持している。

「3_統廃合・複合化」を「積極的に実施すべき」、「どちらかといえば実施すべき」と考えている回答者の割合が90.8%と最も高くなっている。

「2_長寿命化」を「積極的に実施すべき」「どちらかといえば実施すべき」と考えている回答者の割合は85.3%と長寿命化の実施を支持する回答者の割合も高い。

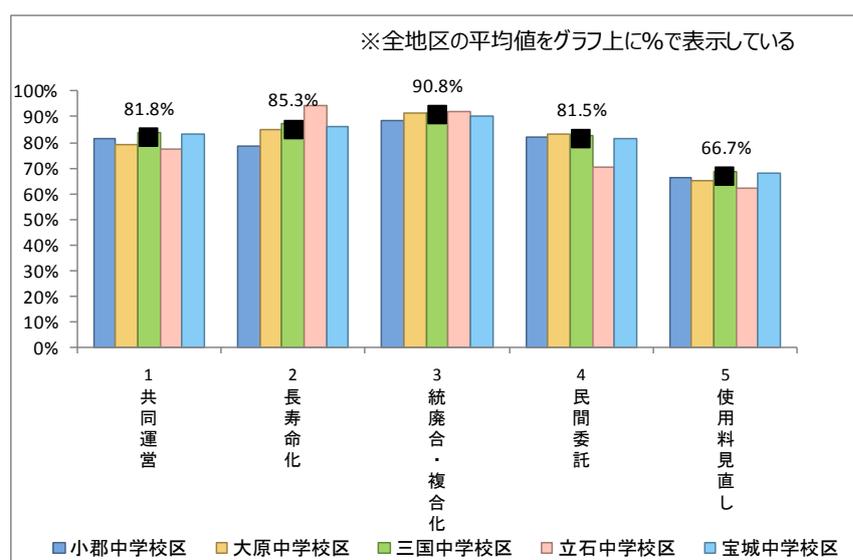
「5_使用料見直し」は、他の方策に比べて割合が低い。

【今後の公共施設の管理について_年代別】



すべての管理方法で、「70歳以上」の回答者の実施の支持割合が高い。とくに「5_使用料見直し」の全年代平均は66.7%に対し、「70歳以上」の回答者は78.8%と不足費用を補うための負担をしたほうがよいと考えていることがわかる。

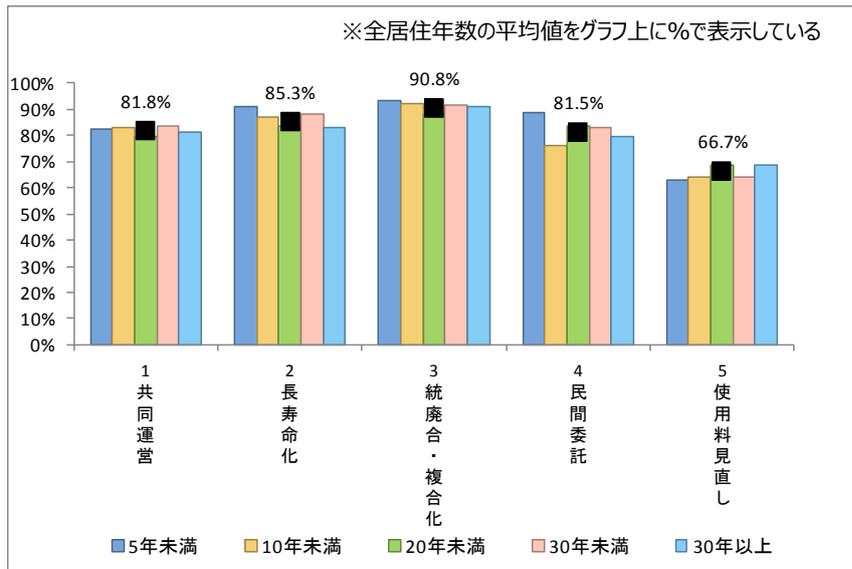
【今後の公共施設の管理について_地区別】



立石中学校区では「2_長寿命化」(94.6%)と平均85.3%に対し高い割合で支持している。

「3_統廃合・複合化」を支持する割合が全ての中学校区で高い。

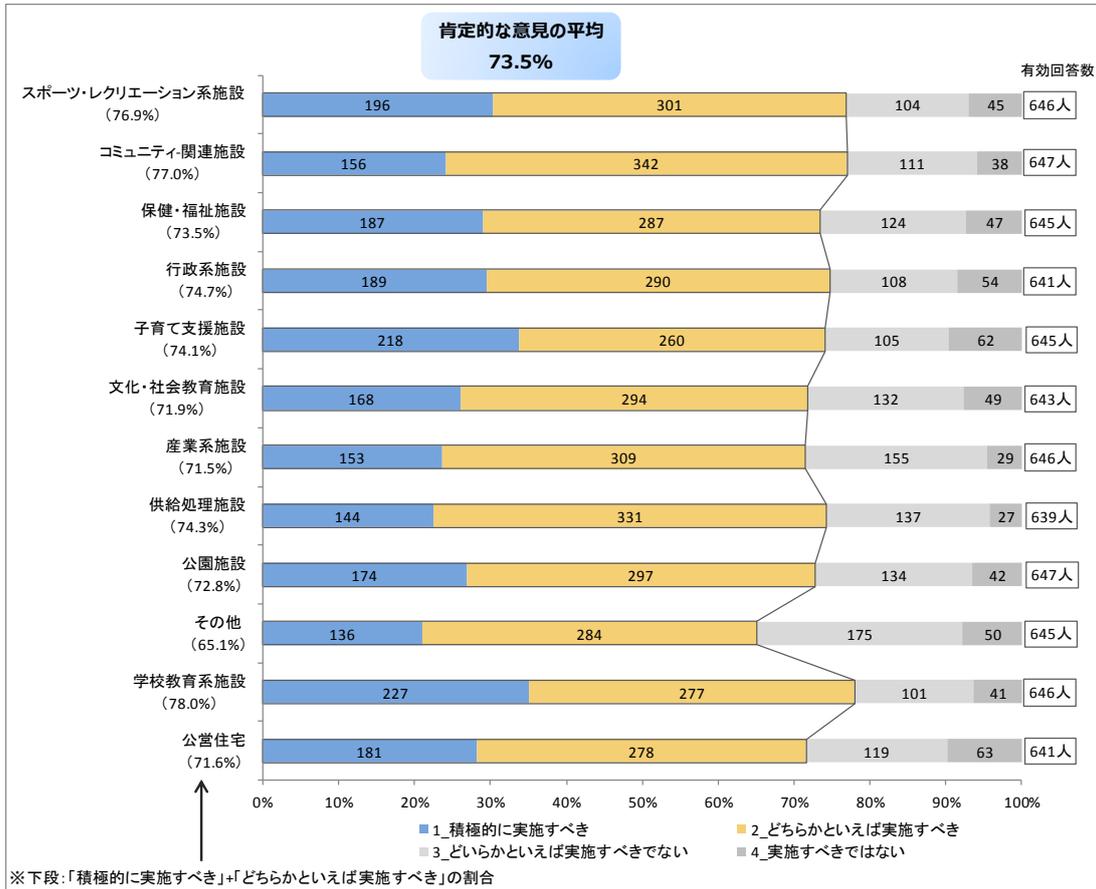
【今後の公共施設の管理について_居住年数別】



居住年別でも、公共施設の管理の推進に肯定的な意見が多い。
「3_統廃合・複合化」を支持する割合が高い。

6. 公共施設の必要性について

Q6 人口減少や少子高齢化等により、公共施設に対する市民ニーズの変化が予想されますが、市が保有する個々の施設を適正な規模とし、施設全体の量を削減するため、建替え等の更新時には、利用状況等に応じて施設の規模を見直すことについて、どのように考えていますか。以下の項目のそれぞれについて、あなたの考えに最も近いものをそれぞれ一つだけ選んで○をつけてください。



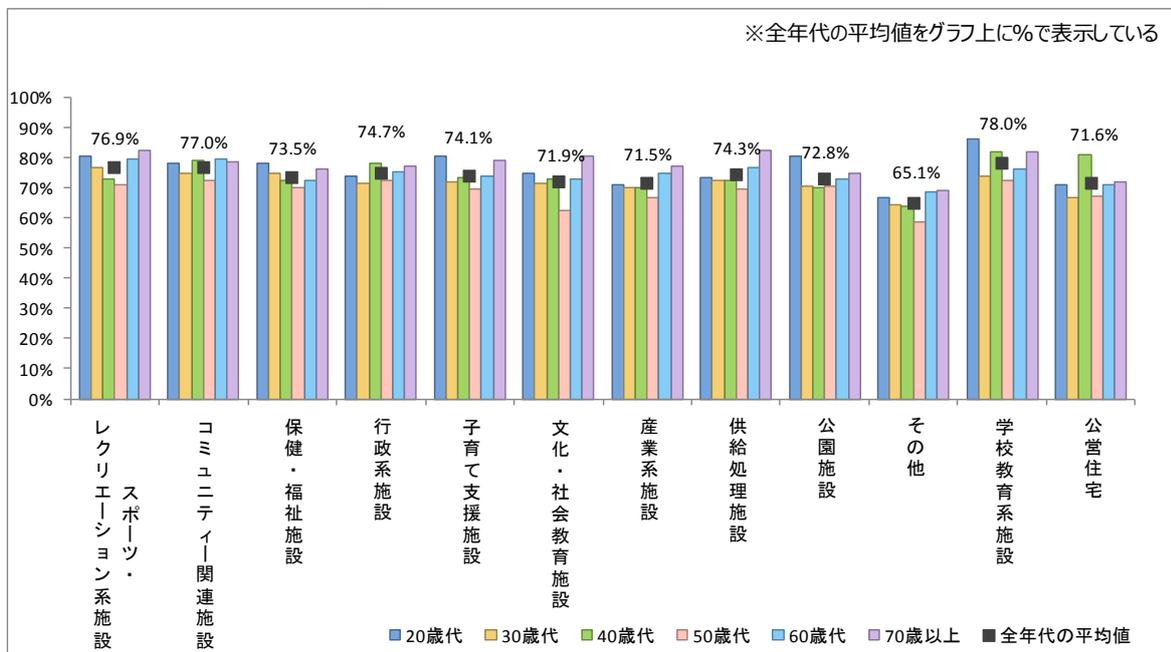
	1_積極的に実施すべき	2_どちらかといえば実施すべき	3_どちらかといえば実施すべきでない	4_実施すべきではない	有効回答数	肯定的な意見の割合
スポーツ・レクリエーション系施設	196	301	104	45	646	76.9%
	30.3%	46.6%	16.1%	7.0%	100%	
コミュニティ関連施設	156	342	111	38	647	77.0%
	24.1%	52.9%	17.2%	5.9%	100%	
保健・福祉施設	187	287	124	47	645	73.5%
	29.0%	44.5%	19.2%	7.3%	100%	
行政系施設	189	290	108	54	641	74.7%
	29.5%	45.2%	16.8%	8.4%	100%	
子育て支援施設	218	260	105	62	645	74.1%
	33.8%	40.3%	16.3%	9.6%	100%	
文化・社会教育施設	168	294	132	49	643	71.9%
	26.1%	45.7%	20.5%	7.6%	100%	
産業系施設	153	309	155	29	646	71.5%
	23.7%	47.8%	24.0%	4.5%	100%	
供給処理施設	144	331	137	27	639	74.3%
	22.5%	51.8%	21.4%	4.2%	100%	
公園施設	174	297	134	42	647	72.8%
	26.9%	45.9%	20.7%	6.5%	100%	
その他	136	284	175	50	645	65.1%
	21.1%	44.0%	27.1%	7.8%	100%	
学校教育系施設	227	277	101	41	646	78.0%
	35.1%	42.9%	15.6%	6.3%	100%	
公営住宅	181	278	119	63	641	71.6%
	28.2%	43.4%	18.6%	9.8%	100%	

※肯定的な意見の割合は「1_積極的に実施すべき」、「2_どちらかといえば実施すべき」の割合。

施設の建替えや改修時期に公共施設の必要性を検討することを、「1_積極的に実施すべき」「2_どちらかといえば実施すべき」と回答している割合は、全用途平均で73.5%となる。

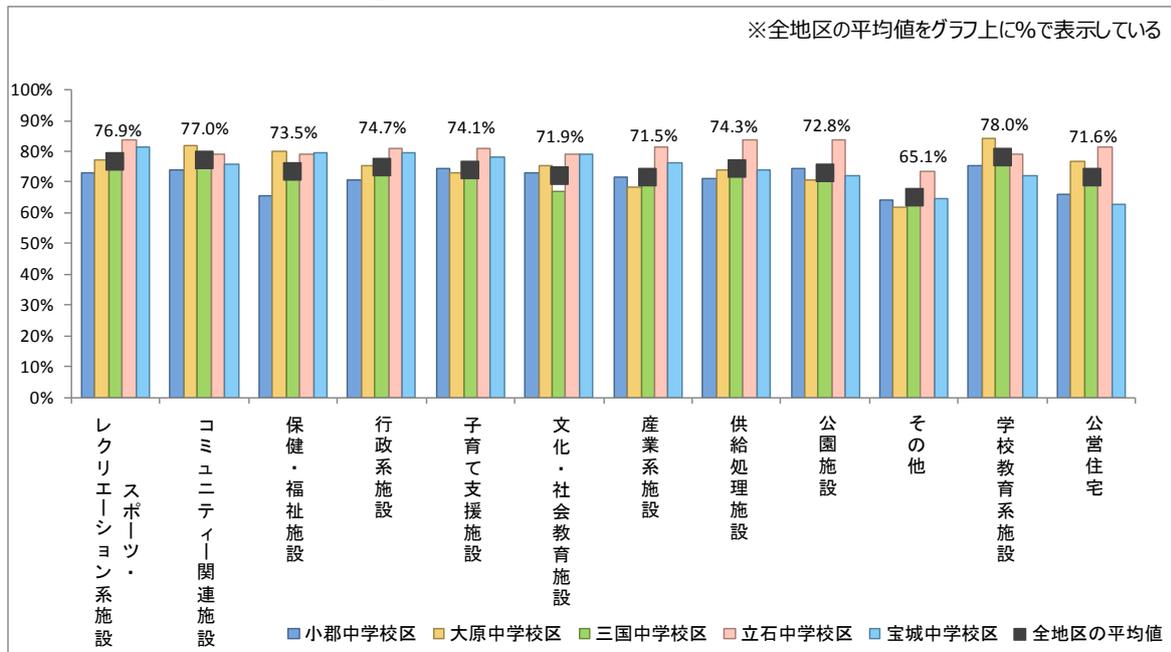
学校教育系施設（78.0%）、コミュニティー関連施設（77.0%）、スポーツ・レクリエーション施設（76.9%）、行政系施設（74.7%）で必要性の検討に肯定的な意見が多い。

【公共施設の必要性について_年代別】



年代別にみると、50歳代の回答者はすべての施設で平均よりも必要性の検討を支持する割合が低く、特に文化・社会教育施設（62.3%）が低い。

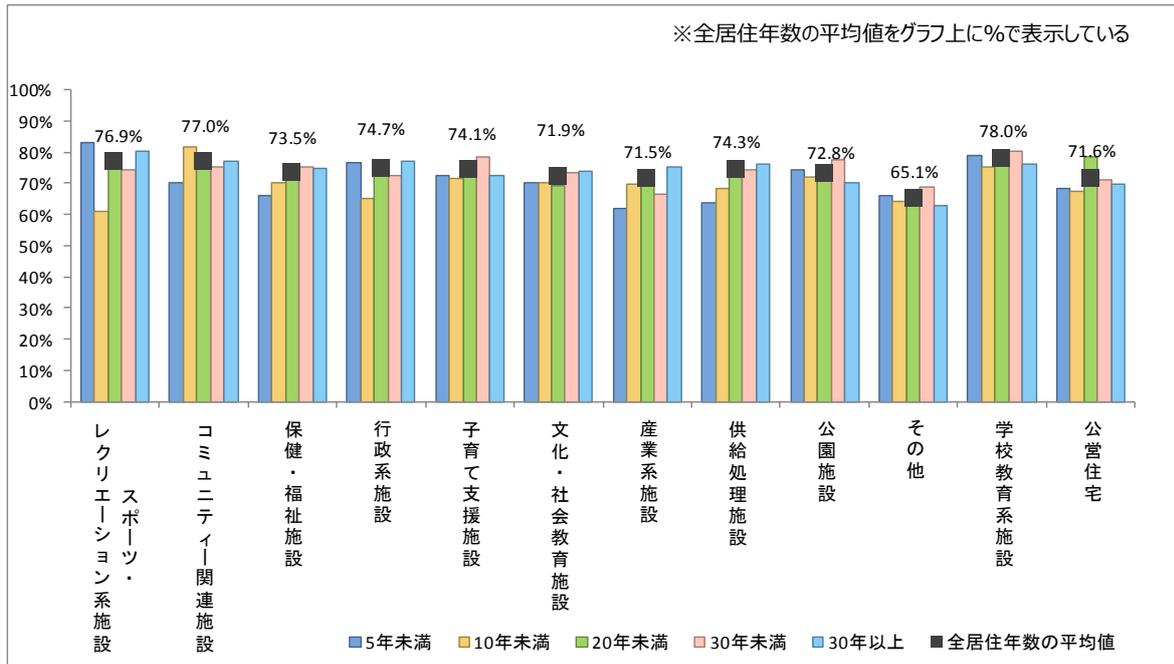
【公共施設の必要性について_地区別】



地区別にみると、小郡中学校区がスポーツ・レクリエーション系施設、コミュニティー関連施設、保健福祉施設、行政系施設で必要性の検討に支持をする割合が少ない。

一方、立石中学校区では、全ての施設で必要性の検討に支持する割合が高い傾向にある。

【公共施設の必要性について_居住年別】



居住年数別にみると、5年未満の回答者は、コミュニティー関連施設、保健・福祉施設、産業系施設、供給処理施設で必要性の検討を支持する割合が少ない。

7. 自由意見欄

Q7 その他、今後の公共施設の活用やあり方について、ご意見やご感想がありましたら、ご自由にご記入ください。

自由意見欄では施設の集約、整理に関するご意見、多様な主体との連携に関するご意見、サービスの見直しに関するご意見等多くのご意見が寄せられました。

多くの貴重なご意見をありがとうございました。

1	【施設の集約、整理（統廃合、複合化、長寿命化）に関する意見】	32 件
2	【多様な主体との連携（民間活用、地元活用、他自治体との連携等）に関する意見】	23 件
3	【サービスの見直し（使用料負担、受益者負担、他サービス利用等）に関する意見】	12 件
4	【施設の見直し（既存施設の利用、施設利用率の向上、設置箇所等）に関する意見】	39 件
5	【地域づくり、まちづくり（地域活性化、安心安全の確保等）に関する意見】	41 件
6	【個別施設に関する意見】	18 件
7	【その他】	3 件

小郡市公共施設一覧

施設分類	施設名
スポーツ・レクリエーション系施設	小郡運動公園、 小郡市体育館、 各地域運動広場
コミュニティー関連施設	各校区公民館、 市民館・集会所
保健・福祉施設	総合保健福祉センター（あすてらす）、 高齢者社会活動支援センター（シルバー人材センター）
行政系施設	小郡市役所、 消防・消防団関連施設
子育て支援施設	市立幼稚園、 市立保育所、 学童保育所、 子育て支援センター
文化・社会教育施設	埋蔵文化財調査センター、 図書館、 文化会館、 生涯学習センター、 人権教育啓発センター
産業系施設	市営共同農業関連施設、 宝満ふれあいセンター
供給処理施設	小郡市リサイクルステーション
公園	小郡運動公園及び史跡公園以外の市が管理する公園
その他	史跡公園（小郡官衙遺跡公園、 上岩田ふれあい磐戸公園）、 旧松崎旅籠油屋、 河北苑
学校教育系施設	小郡市教育センター、 市立小中学校
公営住宅	市営住宅